

## 昭和天皇がお立ちになった 景色のよい公園

与北小学校の南、鉢伏山はちぶせ北東の高台にあるのが、御野立公園です。

ここは大正11(1922)年、丸亀平野で行われた陸軍特別大演習の時、当時皇太子であった昭和天皇が統括監督した場所で、昭和天皇が詠まれた「あかつきにこまをとどめて見渡せば讃岐の富士に雲ぞかかれる」の歌碑が立っています。公園には桜の木が植えられていて春には花見の名所となります。眺めもよく、形よくそびえる飯野山(讃岐富士)を中心に、丸亀平野から瀬戸大橋まで見渡すことができます。



正面に見えるのが飯野山です。

南の石段を下りれば買田池、公園の西から続く遊歩道を下りれば鉢伏山じょうげいんしやうかくじ浄華院正覚寺へと続きます。この境内には、首が真一文字に切れている身代わり地蔵があります。この地蔵は、買田池水路の阿弥陀又あみだまたという分岐点に埋まっていますが、「ここから出してほしい」と村人の夢に出てきて掘りだされたもので、弘法大師空海の作と伝えられています。首が切れているのは親孝行な娘の身代わりになったからといわれ、それ以来身代わり地蔵と呼ばれてきました。



- 与北町1322-1ほか
- JR普通寺駅から車で約8分